やすとみびより

vol.2



実りの秋。
弓引き神事、復活。

2020年12月
発行

安富町関地区の弓引き神事

安富町関地区で毎年10月に行われている秋祭り。水尾神社の境内で、約10メートル離れた的に向かい矢が放たれる"弓引き"の神事です。水尾神社の歴史は古く南北朝時代の年号を刻んだ棟札が残っており、関地区には平家の落人が住んだ伝説もあります。邪気を払い五穀豊穣を願って開催されるこの神事は、関地区の住民減少・高齢化により開催維持が困難になりながらも毎年開催されてきました。今年は安富北地区連合自治会の協力を得て約60年ぶりに古式を復活させる形で執り行われました。今号はその弓引き神事の様子をダイジェストで掲載しお届けします。

1
水尾神社境内に青い大きな幟旗が立ちました。



2
明治初期のものと推測される古い弓。



3
連合自治会長古井さんの挨拶で神事が始まりました。



4
裃(かみしも)を着た4人が天地の邪気を払う所作を行いました。



5
的までは約10メートル。弓を天に向かって高く上げ矢を放つのが関に伝わる伝統のスタイル。



6
兵庫県立大学弓道部の皆さんも参加されました。



7
和やかな様子♫



8
最後に皆で集合写真！当日は報道陣も沢山集まりました。



ウェブサイトを公開しました！

姫路市安富町の魅力発信サイト「やすとみびより.net」を公開しました！
PC、タブレット、スマホでもご覧頂けるようになっています。随時更新中です！
→ https://yasutomibiyori.net

Website QR

やすとみびより

編集後記

関地区の弓引き神事に初めて参加しました。裃姿の4人は勇壮で、弓を射る姿は迫力がありました。水尾神社の木漏れ日の中行われた神事、地域の方々から関地区の歴史をお聞きすることができ、勉強になりました。
随分と寒くなりました。
皆様、どうかご自愛下さい。